

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	文化干渉論		
英文授業科目名	Cultural Interference and Interaction		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	6, 8(5, 7)学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	三浦 清美		
居室	東1-508		

公開E-Mail	授業関連Webページ
miura@bunka.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>主題：民族に起因するさまざまな問題から紛争や悲劇が生まれています。民族、「ナショナリズム」は現代社会を動かすダイナミズムの一つであることはたしかですが、事例をつぶさに検討してみると、簡単には割り切れない複雑な問題であることがわかります。ソ連、東欧諸国を例にとって、日本人が目を背けがちな問題「民族」とは何かを考えることがこの授業の課題です。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし。

<b>【教科書等】</b>
<p>参考書：関曠野著『民族とは何か』講談社新書、柴宜弘著『ユーゴスラヴィア現代史』岩波新書、石川達夫著『マサリクとチェコの精神 アイデンティティと自律性を求めて』成文社。</p>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

授業内容：

第1 - 3週 「民族とは何か」概論

第4 - 7週 90年代ユーゴスラヴィア紛争 翻弄されるナショナリズム

第8 - 10週 ルワンダ内戦 ナショナリズムの根元を直視する

第11 - 13週 戦間期チェコ マサリクの理想（ナショナリズムを超えたナショナリズム）

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価基準：「民族」、「ナショナリズム」について、自分なりの考えを自分の言葉できちんとした日本語でまとめること。しっかりした日本語であることが必須。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取ること。

金曜日 18:00～19:30

### 【学生へのメッセージ】

自分なりの問いをもちつづけることが大切です。

### 【その他】